

伊賀市 「事務事業評価」 結果総括シート(2次評価シート)

(1)政策	コード	名称
	27	(4)多文化が共生するまちづくり

(2)基本施策	コード	名称	(3)生活課題	55	文化の違いを超えて、さまざまな国籍の人が共生している
	55	外国人と交流でき、共生できる地域社会をつくる			

(4)評価実施年度	平成 19 年度
-----------	----------

(5)評価責任者職名	企画振興部長
------------	--------

(6)評価責任者氏名	中嶋 孝
------------	------

(7)評価者	
--------	--

(9)継続・新規 (19.20.21.22)	コード	(10)事務事業名	コード	(11)担当部課名	(12)事業費(千円)			(13)投入人員(人)	主な成果(新規事業の場合は目標数値)		(17)指標の単位	(18)評価類型	1次評価結果				(23)総合評価	(24)方向性	
					H18決算額	H19予算額・補正要求額	H20要求見込額		(14)指標名	指標の数値			個別評価						
										(15)17年度			(16)18年度	(19)必要性	(20)有効性	(21)達成度			(22)効率性
継続	97-1	国際交流推進事業(多文化共生事業)	040200	文化国際課	7,799	8,255	8,554	0.8	オリエンテーション・相談者数	402	727	人		4	3	3	4	A	現状維持
継続	97-3	国際交流推進事業(国際交流員配置事業)	040200	文化国際課	8,600	6,654	6,644	0.2	英会話教室参加者数	40	56	人		4	3	3	4	A	現状維持
継続	97-4	国際交流推進事業(国際交流協会事業運営補助)	040200	文化国際課	7,670	8,585	8,565	0.7	国際交流フェスタへの参加者数	400	600	人		3	4	3	3	A	現状維持
継続	97-2	国際交流推進事業(他国との交流事業)	040200	文化国際課	840	1,607	1,522	0.1	南アフリカ共和国大使館来訪回数	1	2	回		3	3	2	3	D	縮小

(25)1次評価修正有・無	(26)修正点	(27)修正の理由	(28)改革改善案修正の有・無	2次評価			(33)その他の改革改善点について
				(29)修正点	(30)優先度区分	(31)方向性	
有	有効性3を4に修正	生活相談は、多文化共生社会の構築には有効。相談件数の増	無		1G	b	生活相談等の充実を図る。
有	有効性3を4に修正	国際交流員による国際交流活動は、有効と考える。	無		2G	b	ブラジル、中国、ペルー等の在住外国人の増加に伴い、英語圏以外の国際交流員の配置を検討する必要がある。
無			無		3G	c	伊賀市国際交流協会の自主運営を推進する。
無			無		4G	c	民間レベルでの交流の推進を図る。

全 4 事業